

各地域の統合計画の推進・複式学級解消など

# 学校規模適正化を答申

◎問い合わせ先  
教育委員会  
教育総務課  
☎06-6599-2



第3回審議会にて、審議会会長の菅原博明（関中学校長）から、藤堂教育長に答申書が手渡されました

市教育委員会では今年度、小中学校の教育環境の向上を図るため、市内小・中・高等学校の校長や幼稚園長、各地域のPTA会長・行政区長、まちづくりスタッフバンク登録者の中から28人を一関市立学校通学区域調整審議会委員に委嘱し、「学校規模の適正化の基本的な考え方について」を諮問しました。

審議会は8月から合わせて3回行われ、11月6日、次のような答申がなされました。

市教育委員会では今後、この答申に沿って学校整備を進めていくこととしています。

【答申】

今、わが国では教育改革が進められ、未来を担う児童生徒が自らの生き方を考えつつ激変する社会の変化に対応し、たくましく成長するとともに、社会の一員として責任を担うことができるよう育てることが教育の目標となっています。

平成19年4月現在、一関市には小学校41校、中学校19校にそれぞれ児童6739人、生徒3628人が在学しています。少子化に伴う児童生徒数の減少は全国的に進行しているものですが、本市における6年後の平成25年4月の小学校児童数は約1000人の減少で約5730人程度、中学校生徒数は約

3000人の減少で約3320人程度が見込まれます。これは、小学校においては現在の花泉、大東、千厩各地域の小学校児童数700人から800人を大きく上回る減少数であり、中学校においても同地域の現在の生徒数に匹敵する数が減少することになります。

学校規模の小規模化および1学級あたりの極端な少子化により、児童生徒の人格形成の最も大切な成長期において、より多くの友達などとの交流によるさまざまな体験や切磋琢磨の機会の減少など、健全な児童生徒を育てる適切な学校規模の確保が危うい状況に陥っています。また、一方近い将来、高い確率で発生することが想定される宮城県沖地震が起きた場合における義務教育施設の安全確保への対応が急がれる状況にもあります。

一関市教育委員会にありましては、本市における児童生徒数の減少状況

- ①学校の適正規模化にあたっては、一関地域、大東地域、室根地域で取り組んできた統合計画を進めるとともに、その他の地域についても複式学級の解消を基本として取り組まれます。
- ②適正規模についてはお互いに競い合ったり、クラス替えが可能な1学年2学級以上が望ましいが、地域の地理的状況等を勘案しながら取り組まれます。
- ③児童生徒の通学には十分配慮されたい。
- ④保護者、地域住民への啓発に努め、理解と協力を得ながら合意形成を図り進められたい。

## 現行の通学区域による児童生徒数、学級数

区分	地域	学校名	19年4月現在		25年4月見込み		
			児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	
小学校	一関	一関	683	21	596	18	
		山目	652	21	581	18	
		赤荻	349	13	339	12	
		中里	191	7	208	7	
		滝沢	161	9	144	6	
		南	635	21	475	14	
		弥栄	71	6	41	4	
		萩荘	432	16	431	14	
		達古袋	35	4	24	3	
	花泉	蕨美	133	7	135	6	
		本寺	52	5	23	3	
		舞川	134	8	90	6	
		永井	153	7	131	6	
		涌津	135	7	109	6	
		油島	65	6	62	6	
		花泉	197	9	159	6	
		老松	44	4	65	5	
		日形	40	5	33	3	
	大東	金沢	125	7	130	6	
大原		207	8	128	6		
内野		25	4	12	3		
摺沢		182	7	125	6		
興田		180	6	136	6		
猿沢		99	6	70	6		
洪民		44	5	45	4		
曾慶		62	7	61	6		
千厩		430	16	393	12		
千厩	小梨	92	6	55	5		
	清田	37	4	35	4		
	奥玉	132	7	103	6		
	磐清水	33	4	37	4		
	長坂	218	8	182	7		
	田河津	63	5	55	5		
	松川	130	7	84	6		
	折壁	108	7	105	6		
	浜横沢	43	5	41	4		
東山	上折壁	61	6	34	3		
	釘子	42	4	26	3		
	津谷川	33	3	27	3		
	薄衣	136	7	145	6		
	門崎	95	7	61	5		
	計	6739	322	5736	265		
	中学校	一関	一関	308	11	291	11
			山目	533	17	497	16
			中里	106	3	102	4
真滝			86	3	73	4	
桜町			344	10	350	11	
弥栄			30	3	31	3	
萩荘			209	6	236	7	
蕨美			91	4	86	3	
本寺			6	2	22	3	
舞川		86	4	62	4		
花泉		花泉	429	14	380	13	
	大原	125	7	122	5		
	大東	164	6	127	6		
	興田	126	5	82	3		
	猿沢	69	4	49	3		
	千厩	384	13	381	13		
大東	東山	240	8	200	7		
	室根	152	6	126	5		
	川崎	140	6	108	5		
	計	3628	132	3325	126		

※学級数には特別支援学級を含む

## 19年度市納税式

# 自主納税実践をたたえ

本年度の市納税表彰式は11月6日、一関文化センターで行われました。

式では、全員で市民憲章を唱和した後、浅井市長が「日ごろより納税を通じてまちづくりに尽力いただき、深く敬意と感謝を申し上げる。多様化する住民ニーズに応え、真の豊かさを共感できる地域づくりの諸施策を推進するため、皆さんの一層のご理解ご協力の下、適正かつ公

平、公正な課税と収納率の向上に努めてまいりたい」とあいさつ。続いて阿部睦一関市納税貯蓄組合連合会長が「納税貯蓄組合は、納税の推進を通じて地域づくりの原動力となっていると自負している。納税は地味だが地域づくり参画の機会ととらえ、着実に進んでまいりたい」とあいさつし、納税に特に功績のあった個人や団体に対して表彰状と感謝状の贈呈が行われました。

受賞された皆さんは次のとおりです。（敬称略）

### 市長表彰

- ◎最優秀組合（18年度収納実績100割）：▽東山・羽根堀ほか161組合
- ◎優秀組合（同95割以上100割未満）：▽室根・第一区ほか236組合

- ◎優良組合（同90割以上95割未満）：川崎・仲町ほか69組合
- ◎功労組合（前3カ年平均収納実績から18年度実績が1ポイント以上向上）：一関1区ほか178組合
- ◎優良特別徴収義務者（特別徴

### 市長感謝状

◎優良退職組合長（長年にわたる自主納税・組合運営に尽力され、昨年中に勇退された組合長）：▽千葉登（一関・中央）▽熊谷貞吉（同・山目7区中央）▽千葉洸（同・真滝9区）▽増子昌康（同・真滝12区）▽小山正良（大東・立町）▽菊地昭治（同・源八）▽村上忠一（千厩・北方）▽佐藤好民（同北ノ沢）▽佐藤照男（同・第8区）▽菅原實（同・第10区）▽渡辺勝吉（同・第22区）▽小野寺清吾（川崎・妻神）

### 市連合会長表彰

- ◎優良勤続組合長（長年にわたる納期内完納の促進、納税思想の普及に尽力）：▽菅原英輔（大東・下内野）ほか46人
- ◎優良功労組合（5年以上継続して年度内納付率100割）：千厩神ノ田ほか6組合

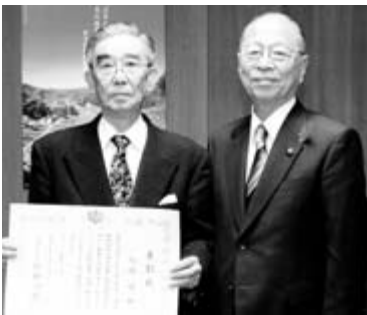
## 阿部市納税貯蓄組合長が 国税庁長官表彰受賞

### 市連合会長感謝状

▼永年在任役員（長年にわたり納税貯蓄組合役員として組合の

育成活動、運営に尽力）：▽清和吉男（一関・太平）▽小金森得治（花泉第12）▽千田昭（千厩・第7区）▽佐藤吉士（東山里前第一）

度の普及や納税思想の向上に尽くされています。



阿部会長（左）は10月25日、浅井市長に受賞を報告。市長から祝福を受けました

## 住宅ローン控除

所得税から引ききれなかった額が  
申告で住民税から控除できます

国から地方への税源移譲により所得税の税率が変更になり、所得税額がこれまでに比べて減少する場合があります。このため、所得税からの住宅ローン控除が減少する人については、所得税から控除しきれなかった額を翌年度の住民税（所得割）から控除することができることになりました。

◇対象…平成11年から18年末までに入居した人

◇手続き…適用を受けるためには「市県民税住宅借入金等特別税額控除申告書」を20年3月17日までに、20年1月1日現在にお住まいの市町村へ提出してください。

▽所得税の確定申告をする人…税務署へ確定申告書とともに提出

▽所得税の確定申告をしない人…源泉徴収票を添付して市町村へ提出

◎問い合わせ先…本庁税務課市民税係または各支所市民課税務係